



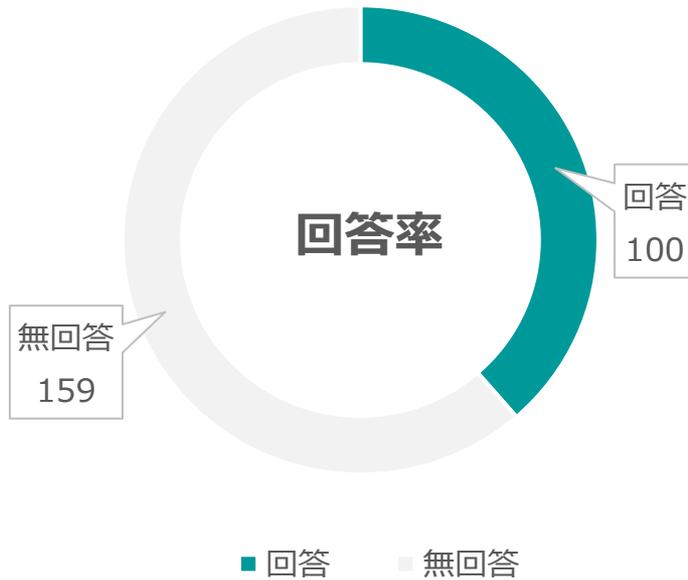
**安城校区**  
地域ワークショップアンケート

# 安城校区 地域ワークショップアンケート

回答数	100	男性	58	女性	34	無回答	8
-----	-----	----	----	----	----	-----	---

10代	0	20代	2	30代	2	40代	5	50代	20	60代	32	70代	19	80代	13	90代	1	無回答	6
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

対象者 259名

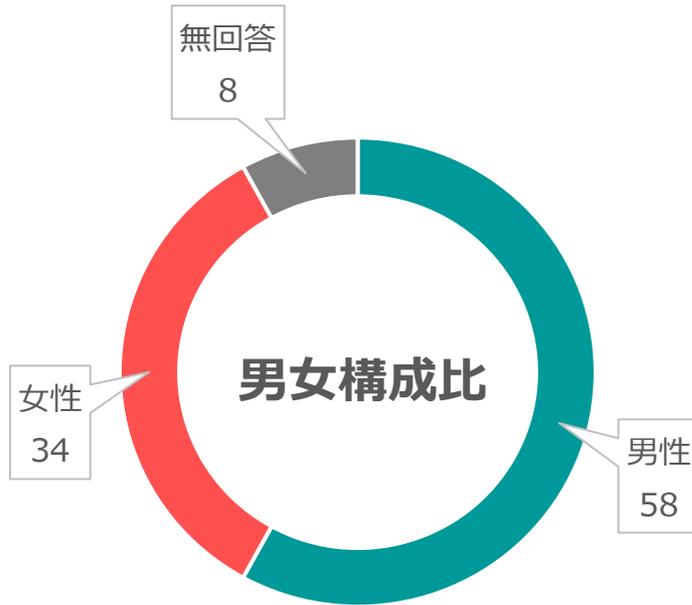


38.6%

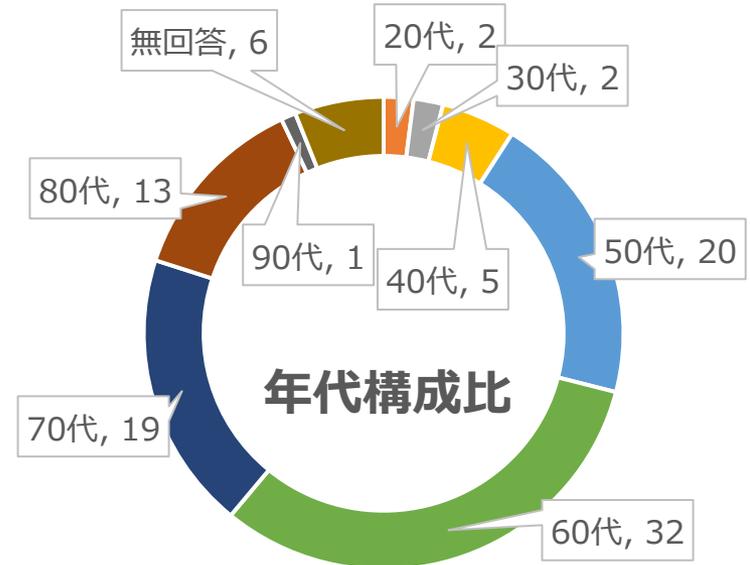
# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_校区の困りごと

回答数	100	男性	58	女性	34	無回答	8
-----	-----	----	----	----	----	-----	---

10代	0	20代	2	30代	2	40代	5	50代	20	60代	32	70代	19	80代	13	90代	1	無回答	6
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代  
 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代 ■ 無回答



安城校区

地域ワークショップアンケート

**質問1**

# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_校区の困りごと (点数順)

## 質問1\_校区の困りごと 点数順

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	24	14	4	42	87.9
2	部落費や校区費が高い	23	13	8	44	85
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	13	17	10	40	65.5
4	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	7	7	14	28	41.3
5	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	11	10	4	25	35.9
6	頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い	4	14	7	25	33.3
7	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない (支援者の負担が大きい)	8	9	6	23	27.3
8	働く場がなく (少なく)、賃金も少ない	4	9	9	22	23.8
9	スーパーや商店がない (少ない)	5	9	3	17	23.5
10	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	5	6	9	20	22.7
11	自宅の修理や空き家の管理ができていない	7	5	6	18	18.9
12	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	5	6	4	15	18.6
13	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	4	7	2	13	18.5
14	危険箇所が多い (防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分)	5	5	4	14	17.7
15	道路が舗装されていない	3	7	1	11	10
16	その他	2	1	2	5	10
17	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	6	1	4	11	8.28
18	行事やイベントが多すぎる	2	4	3	9	7.87

# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_校区の困りごと (点数順)

## 質問1\_校区の困りごと 点数順

Point

性別関係なく、上位3つの項目は変わりなかった。  
役員は男性がすることが多いためか、男性の関心が高いと思われる。

### 全体

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	24	14	4	42	87.9
2	部落費や校区費が高い	23	13	8	44	85
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	13	17	10	40	65.5

### 男性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	17	7	1	25	56.4
2	部落費や校区費が高い	8	10	8	26	40.4
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	8	9	6	23	37.0

### 女性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	5	6	4	15	24.5
2	部落費や校区費が高い	8	3	0	11	23.6
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	6	3	3	12	23.53

質問1\_校区の困りごと 点数順

## 10代～50代

### 男性

		点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	16
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	12.2
3	部落費や校区費が高い	10.5

### 女性

		点数
1	部落費や校区費が高い	12
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	7.33
3	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	5.667

Point

10代～50代で共通しているのは、小学校の存続が心配という回答が多かった。  
また、部落費、校区費が高いこと、役員のなり手がいないこと上位3つの項目は性別関係なく共通していた。

質問1\_校区の困りごと 点数順

## 60代

### 男性

		点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	37.4
2	部落費や校区費が高い	21.0
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	12.6

### 女性

		点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	11.67
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	10.3
3	部落費や校区費が高い	9.0

Point

60代では、校区の役員等になる可能性が高く、男女とも関心が高いと思われる。  
また、若い担い手がいないことを危惧している。

質問1\_校区の困りごと 点数順

## 70代~90代

### 男性

		点数
1	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	10.3
2	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	9.67
3	頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い	8.83
3	部落費や校区費が高い	8.83

### 女性

		点数
1	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	9.6
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	8.15
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	6.2

Point

70代~90代は、いま困っていることを率直に回答いただいたと予想される。  
男性では上位3つとも単身や独居を心配する項目が並んだ。



安城校区

地域ワークショップアンケート

**質問2**

# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_こうありたい未来 (点数順)

## 質問2\_地域のこうありたい未来 点数順

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	67
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	63
3	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	55
4	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	39
5	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	33
6	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	24
7	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	22
8	移住者を受け入れて人口が増えている	21
9	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	21
10	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	21
11	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	18
12	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	16
13	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	15
14	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	12
15	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	9
16	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	6
17	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	6
18	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	6
19	その他	3

# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_こうありたい未来 (男女別)

## 質問2\_地域のこうありたい未来 男女別

### 全体

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	67
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	63
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	55

### 男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	46
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	33
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	25

### 女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	27
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	21
3	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	15
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	15

質問2\_地域のこうありたい未来

## 10代～50代

### 男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	16
2	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	9
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	9

### 女性

		点数
1	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	9
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	9
3	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	6

**Point**

男性はこのまま穏やかに暮らしたいという意見が多かったが、女性は現在よりも負担を軽減して同じ地域に住み続けるという意見が多かった。

## 質問2\_地域のこうありたい未来

### 60代

#### 男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	18
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	18
3	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	15
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	15

#### 女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	15
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	9
3	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	6

#### Point

60代は、男女とも行事を最小限にし、役員の負担を減らすことで存続できると回答している。

質問2\_地域のこうありたい未来

## 70代～90代

### 男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	12
1	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	12

### 女性

		点数
1	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	12
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	9
2	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	9

**Point** 70代～90代は、移動手段に困らない未来を望んでいると思われる。



**安城校区**

地域ワークショップアンケート

**参考**

# 安城校区 地域ワークショップアンケート 00\_全体集計\_校区の困りごと

## 質問1\_校区の困りごと 回答

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	24	14	4	42	87.9
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	7	7	14	28	41.3
3	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	5	6	9	20	22.7
4	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	4	7	2	13	18.5
5	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	13	17	10	40	65.5
6	危険箇所が多い（防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分）	5	5	4	14	17.7
7	自宅の修理や空き家の管理ができていない	7	5	6	18	18.9
8	スーパーや商店がない（少ない）	5	9	3	17	23.5
9	行事やイベントが多すぎる	2	4	3	9	7.87
10	部落費や校区費が高い	23	13	8	44	85
11	働く場がなく（少なく）、賃金も少ない	4	9	9	22	23.8
12	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	5	6	4	15	18.6
13	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	11	10	4	25	35.9
14	頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い	4	14	7	25	33.3
15	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない（支援者の負担が大きい）	8	9	6	23	27.3
16	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	6	1	4	11	8.28
17	道路が舗装されていない	3	7	1	11	10
18	その他	2	1	2	5	10

質問2\_地域のこうありたい未来 回答

		点数
1	移住者を受け入れて人口が増えている	21
2	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	6
3	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	12
4	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	24
5	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	21
6	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	21
7	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	6
8	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	22
9	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	33
10	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	18
11	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	16
12	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	39
13	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	9
14	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	6
15	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	15
16	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	67
17	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	55
18	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	63
19	その他	3